

art-life+ vol.9 石塚元太良展

「はじまりへの導線-Trans Alaska Pipeline」開催

spiral®

2007年4月3日（火）～15日（日）スパイラルガーデン（スパイラル1F）

この度、スパイラル／株式会社ワコールアートセンターは、若手フォトグラファー石塚元太良を起用した展覧会 art-life+ vol.9 石塚元太良展「はじまりへの導線-Trans Alaska Pipeline」を、2007年4月3日（火）から15日（日）まで、スパイラルガーデンで開催する運びとなりました。

スパイラルが主催する「art-life」シリーズは、次世代を担う若手アーティストを起用し、作品発表の機会を提供するとともに、社会におけるアートの新しい可能性を提案する展覧会シリーズで、今回で9回目を迎える「art-life+」は個展形式の展覧会です。2006年には、刺繍を使った絵画表現で知られる手塚愛子の個展を開催しました。

今回起用する石塚元太良は、19歳からスリランカ、ドイツ、アラスカなど約60カ国を旅しながら、撮影を続ける若手フォトグラファーで、2001年にEPSON カラーイメージング コンテスト大賞を、2004年に日本写真協会賞新人賞を受賞しました。



Copyright: Gentaro Ishizuka

パイプラインを追い続ける3年間1,280kmの旅

—カメラを持つ僕の眼をとらえたのは、

「荒野」そのものではなく、ちらりちらりと見え隠れする彼方の人工パイプラインだった—（石塚元太良）

2003年、石塚元太良は、「人間の手が届かない程、自然が自然として深い沈黙に守られている」荒野を求め、アラスカに向かいました。そこで彼が出会ったのは、「荒野」ではなく、荒野を走る「パイプライン」でした。この、人口の建造物としては世界で二番目に長い「Trans-Alaska Pipeline System」は、北米最大の埋蔵量を誇るアラスカ北極海油田で汲みだされる石油を運び、アラスカを縦断しています。

最果ての地に途切れることなく続くパイプラインの姿に、人類の営みに通じる滑稽さやせつなさを感じた彼は、3年間をかけて、1,280kmにおよぶパイプラインを追い、その南端に位置するValdez（バルデーズ）から、北極海に面した町Deadhorse（デッドホース）まで自動車を駆り、寒さのためエンジンを切らずに撮影を続けました。

今回の展覧会では、「パイプラインへの眼差しも悠久の時間の中で生命のサイクルを繰り返す自然に比べることなく、いつしか失われてゆくものへの記録であるだろう」と語る石塚元太良が、パイプラインに出会い、導かれるまま進み、撮りおろした高さ96センチ、幅20メートルの新作など、約20点を展示します。

また、吹き抜けの展示空間アトリウムには、アラスカの夜の心細さや、旅の高揚する気分を体感できる、テント型の映像作品を展示します。

無人の荒野をどこまでも果てしなく延びるパイプライン。アラスカを南北に縦断する世界で2番目に長い人工建造物だ。凍てついた大地を這うように、美しい地平線に突き進むかのように走るその線は、人工と自然の対比というより、地球の巨大な力を指し示すサインのようにも、人間の滑稽さや悲哀を表す象徴のようにも思える。めまぐるしい移動を繰り返しながら自己・他者・場所についてのアクチュアルで軽やかな思考の痕跡を発表してきた石塚はただひたすらにこの白い道標に導かれ、写真を撮り、長い旅を続けた。その果てに生まれたイメージの連なりは、移動することで浮上する世界を覆う薄膜上の亀裂のようにも見えてくる。このパイプラインは、旅により自己を深く揺るがし逆転させてゆく高速の旅の知覚の化身なのかもしれない。（美術史家 伊藤俊治）

お問い合わせ

広報担当：渡邊モイチ、関野玲子、津留崎麻子
スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23

Tel: 03-3498-5605 (広報) Fax: 03-3498-7848

E-mail: press@spiral.co.jp

スパイラル／株式会社ワコールアートセンターは、株式会社ワコールが100%出資して1985年に創業した関連会社です。東京・青山の複合文化施設「スパイラル」を拠点に、アートの事業化を目指し、展覧会やイベントの企画、インテリア・雑貨の販売、CDレーベルの運営、トータル・ビューティ・サロン、レストランなど、幅広い事業を通して、生活とアートの融合したライフスタイルを提案しています。

石塚元太良 略歴

1977年東京都出身
早稲田大学中途退学

主な個展

1998年 「Godsummer」
1999年 「コンクリート大作戦」
2001年 「worldwidewonderful」
2002年 「worldwidewarp」
「worldwidewarp」
「worldwidewarp」
2006年 「WWWWW」
2007年 「WWWWW」

コニカフォトプラザ
Galley Niepes
新宿epsite
東京ヴィジュアルアーツギャラリー
大阪ヴィジュアルアーツギャラリー
福岡ヴィジュアルアーツギャラリー
Lotus Root Gallery
原宿クルックライブラリー

主なグループ展

2003年 日本写真家協会年度展
2006年 New vision of photography 展

富士フォトサロン
雅楽画廊 上海

主な出版物

2001年 「worldwidewonderful」
2003年 「worldwidewarp」
2006年 「WWWWW」
2007年 「Pipeline Alaska」

Niepes刊
ヴィジュアルアーツ刊
青幻社刊
プチグラパブリッシング刊

受賞歴

2001年 EPSON カラーイメージングコンテスト大賞
2003年 ヴィジュアルアーツフォトアワード大賞
2004年 日本写真家協会新人賞



Copyright: Gentaro Ishizuka



Copyright: Gentaro Ishizuka



Copyright: Gentaro Ishizuka



Copyright: Gentaro Ishizuka